

幼 兒 の 教 育

昭 和 二 十 年 十 月

現下の時局と幼児保育

倉 橋 惣 三

我等の心は現下の時局に聚注されてゐる。北支南支に於ける我が忠勇の將士を想ふ
心で胸一ぱいである。その中で、常の業に對して常の心をも失はないことは、確に一
つの努力である。時局外に立つての平常ではない。そんなことは、今の日本のまことに
もあり得ない。時局内に在つての平常への緊張、たゞの平常よりも一段一層に強固な
平常心、それが今日の我等の生活である。幼児保育に於てもその意味で一層一段の緊
張が、日本の幼稚園ニ保育所ニの隅々にきつちりニ充滿してゐる。

しかも、今の幼児保育はそれだけの緊張で止まらない。國の非常時は國の將來に對
して遠い慮りに耽らせる時でもある。現下素より一心不亂であるが、國は長い。恐ら
くや非常性も亦長いであらう。幼児保育の必要がその將來感の嚴肅性に於て嚴肅にあ
らざるを得ないのは、苟も思慮をもつ何人に於ても同一でなければならぬ。あの、
勇壯無比に戰つてゐる勇士を想ふにつけても、その後を嗣ぐものとしての、強い日本

人の心身の健全な發達を誰れが引受けるか。強い日本人の善良な性情の涵養を誰れが受けもつか。今こそ幼児教育者が、その職責を眞に日本に結びつけて自覺する時である。

勇士は國のために壯途にのぼる。その後をしつかり留守して、あの勇ましき父達兄達に後顧の憂なからしむるは、銃後のつぎめの第一である。そのために、各方面の問題が多くあるが、愛兒を愛弟の養護保育に後顧の憂なからしめることも亦、緊急のこゝみである。否、それこそ最も緊急務である。幼稚園を保育所とは、その意味で特別の責務を自覺する。おこさんのこゝみは引受けてゐます。安心して國のため戦つて下さい。これは、非常時幼児保育の高唱の聲である。

男子が外に出て戦ふ時、内に婦人の用務が増加するのは當然である。平生の婦人活動の外に男子活動の分まで働かなければならなくなる。それは非常時婦人の義務である。たゞ、その婦人が母である場合、その非常時活動の忙しさは、おのづから、その愛兒の愛育の暇を少なからしめるこゝみなしにしない。それも構つてゐられない忙しさが已むを得ないだけに、愛兒の方に如何に氣のひかれるこゝみかこも察せずにはゐられない。察する察しないでなく、事缺くところあるのは何さか補はねばならない。平生でも家庭教育を補ふこゝみを任せてゐる幼稚園、保育所の任務は、こゝに非常時的緊急性を加へられ來るのである。お子さんのこゝみはいくらでもお手傳ひします。安心して國のため働いて下さい。之れも非常時幼児保育者の高唱の聲である。いつもは男がする仕事を引受けて二本のたすきをかける非常時母性のために、非常時保母も二本三本のたすきをかけずにはゐられないのである。

時局の緊張は國の土に溢れ、國の空に漲る。國。國。國。勿論平時も雖も一刻も忘れない國である。しかも、特に國民全體の全體の時間に國の意識が強められてゐる今日である。それが幼児達にも素より反映せずにはゐない。その反映を適切に指導し、強化してゆくのは、今日の幼稚園と保育所との力を籠める保育工夫でなければならぬ。幼児保育も國家意識。これは保育の目的論としては、それだけのつくりしたところであるが、保育の方法論としては、必ずしも無工夫では正しく實行し難い問題である。それが、今日此の時に於て、最も自然に、最も適切に、又、恐らくや最も容易に、隨所隨時に實現し得るべきである。勿論、そのために幼児に非常時局を語り教へるばかりがいゝ方法ではない。それ以上の周到さに於て、國を感じさせるのでなければならぬ。而して、それが今日最もよく出来るのである。

あなたの幼稚園保育所で、此の時局を幼児にさう反映させてゐられるか。此の時局がさう幼児教育的に取扱はれてゐるか。——こゝでは私は、そこまで細かいことはおたづねしまい。たゞ、問ひたいのは、此の時局が、保姆諸君自身の心に、實生活に、さう反映してゐるかである。——これも、今更事新しく問ふ必要がないであらう。たゞ、是非々々知りたいことは、その、あなたへの時局の反映が、さう幼児達に再反映してゐるかである。

之れに對して、種々の貴い答へが與へられ、報告が提出され得るであらう。その一つ／＼が皆立派な事であることを疑はないし、夫々種々であつてこそ、真にいゝ時局の保育が完ふせられるのであらう。しかし、あの反映法、この反映のしかたの必要と共に、一番の中心が、あなたを平時以上に保育常道の保持者たらしめることであるのと言ふまでもないであらう。

我等の心は現下の時局に聚注されてゐる。北支南支に於ける、我が忠勇の將士を想ふ心で一ぱいである。この時、内に於て國家將來のための保育と教育とに當る。あゝ實に平常の我等ではないのである。